

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立鎌田小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	65.0%	55.0%
令和 7 年度の目標	65.0%	50.0%
令和 6 年度の結果	60.3%	42.4%
令和 5 年度の結果	34.2%	42.4%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	42.1%	43.0%
第 5 学年	57.0%	48.0%
第 4 学年	41.6%	39.3%
第 3 学年	55.6%	54.6%

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	○校内研修 研究主題を「すんで学習し、学びを深める児童の育成～国語科文学的文章における指導の工夫を通して～」とし、児童が主体的に学習に取り組む授業改善を行い、学習への意欲を高め学力の向上につなげる。 ○ミライシード研修 教員の活用の仕方に即した研修を実施し、授業に活かせるようにする。 ○板書の書き方 「めあて」「まとめ」など、児童の思考の流れに沿った板書計画を立て、指導と評価の一体化を図る。 ○各教科での探求的な学習を重視 教科担任制の推進を図るため、学年会、各教科担当者での打ち合わせの時間を確保し、探求的学習の流れを確立する。研究分会等で、授業に関する情報交換を行い、授業力向上の為のアイデアを出し合う。	○計算・漢字ドリル、漢字小テスト、東京ベーシックドリルの活用 ドリルでの反復指導やベーシックドリルでの弱点対策を行う。 ○一人1台端末、ミライシード 「ドリルパーク」を活用し、学習の振り返りをさせる。「オクリンク」などを活用し、資料などの共有化を図り、話し合い活動を活発化させる。 ○ノート指導の工夫 ノートの書き方を統一し、分かりやすくまとめられるようにする。学習の振り返りでノートを活用できるようにする。 ○よむYOMUワークシートの活用 3年生以上が、修1回の朝学習で取り組み、読解力を身に付けさせる。（3年生は、後期より） 低学年は、国語の読解に関するプリント学習を行う。 .	○話す聞く態度や学習のきまりの徹底 呼名時の返事の仕方や、授業中のルールを徹底させる。授業中の「話すよ聞くよあいいうえお」や「声のものさし」を活用し、指導する。 ○えどダブルルール・SNS鎌田っ子ルール 学校や家庭で、一人1台端末を使用する時の約束を統一し、指導する。 ○家庭学習 学期毎の江戸川っ子study week週間で、ドリルパークを活用した自主学習への意欲付けを行い、日常的に活用する習慣を身に付けさせる。各クラスで最も意欲的に取り組みだ児童や、毎日取り組みだ児童の表彰を行う。 宿題や自主学習で学年×10分程度の家庭学習を推奨する。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	○特別支援教育の充実 日頃の児童観察を心がけ、適切な指導方法についても学年で協力し対応する。特別支援委員会でも情報を共有し、適切な支援方法について検討する。 ○主任教諭による若手研修 若手教員の学びたい事柄を取り上げ、主任教諭による研修を定期的に行う。 ○区学力調査による学力の客観的データ、分析の活用 個人の学力に関するデータの蓄積、分析を生かした授業改善を行う。 ○児童理解と支援の工夫 スクールカウンセラー、特別支援教室専門員、SSWとの連携を強化し、各児童の理解と個に応じた支援を工夫する。	○放課後学習教室の活用 CD層の確実な受講を促し、放課後学習教室担当講師からの連絡簿などに目を通し、対象児童の学力の変化を把握する。授業の遅れなどについても情報交換し、より対象児童に効果的な指導が行えるように工夫する。 ○個別対応の保障 学習カルテを活用し、個に応じた教材を用意する。ミライシードを活用し、対象児童に合った問題を提示する。	○家庭との連携 持ち物が揃っていないことで集中できない児童に対して、連絡帳を書くことの徹底や、学習用具、宿題の忘れ物がないように家庭との連絡を密にする。生活指導便りや、Teams、tetoruも、活用し、連絡する。
成果指標	○全国学力調査児童質問用紙 「国語の勉強は大切だ」の肯定的回答割合90%以上 「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」の肯定的回答割合80%以上	○全国学力調査児童質問用紙 「国語の授業内容はよく分かる」「算数の授業内容はよく分かる」の肯定的回答割合85%以上 ○CD層 55%以下	○全国学力調査児童質問用紙 「学校の授業時間以外の勉強時間 1時間以上」の回答割合70%以上 「読書は好きですか」の肯定的回答割合90%以上 ○江戸川っ子study week!の取り組み目標到達率80%以上